

7) 周術期抗菌薬の平均投与日数 慢性硬膜下血腫

予定的脳外科手術の多くは「清潔手術」ですが、感染による合併症は重篤になりうるため、「2日以内を目安とする」との国内ガイドラインがありますが、さらに短くてよいとする海外の疫学調査もあり、CDCガイドラインでは「術前1回投与(+術中数時間おき)」を推奨しています。

平均投与日数が3日間を超えている施設は、術後感染症の合併が多くないか、また標準的な投与日数が決められているか、など検討の余地があると思われます。

参考: 「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005)
 CDC GUIDELINE FOR PREVENTION OF SURGICAL SITE INFECTION(1999)
 Valentini LG, Neurosurgery 61:88-96, 2007

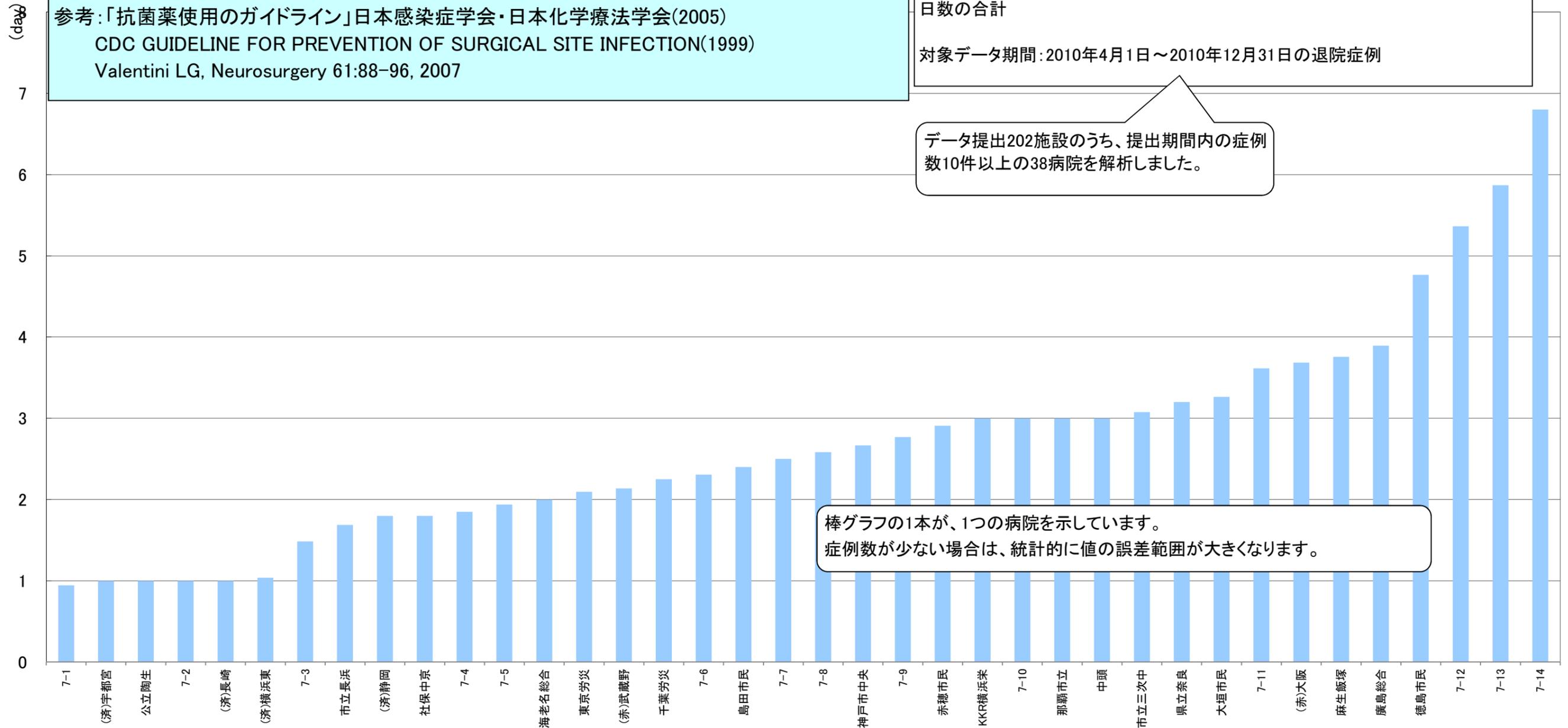
データの定義

分母: 下記のすべてを満たす症例

- (1) DPCコード6桁が010050「非外傷性慢性硬膜下血腫」
 - (2) 同一入院期間中下記のいずれかのみ一回だけ実施
 慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術 K164-2
 頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 硬膜下のもの K1642
 - (3) 抗菌薬投与エピソードが手術日以前にはじまっていない
 - (4) (1)~(3)の症例のうち、投与日数が病院毎に平均+2SDを超えない症例
- 分子: 上記症例において、抗菌薬(注射薬・経口薬)が1回でも算定された日数の合計

対象データ期間: 2010年4月1日~2010年12月31日の退院症例

データ提出202施設のうち、提出期間内の症例数10件以上の38病院を解析しました。



棒グラフの1本が、1つの病院を示しています。
 症例数が少ない場合は、統計的に値の誤差範囲が大きくなります。

※標(12か月分)よりも対象期間が短い(9か月分)ため、10症例を超える施設数が少なくなっています。

7) 周術期抗菌薬の平均投与日数 慢性硬膜下血腫

(五十音順)

略称	病院名(五十音順)	投与症例数	投与日数	提出月数
赤穂市民	赤穂市民病院	11	2.9	9
麻生飯塚	麻生飯塚病院	41	3.8	9
(済)宇都宮	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院	21	1.0	9
海老名総合	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	15	2.0	7
大垣市民	大垣市民病院	57	3.3	9
(赤)大阪	大阪赤十字病院	19	3.7	9
神戸市中央	神戸市立医療センター中央市民病院	12	2.7	9
公立陶生	公立陶生病院	20	1.0	9
(済)静岡	静岡済生会総合病院	15	1.8	9
社保中京	社会保険中京病院	10	1.8	9
島田市民	市立島田市民病院	10	2.4	6
市立長浜	市立長浜病院	16	1.7	9
市立三次中	市立三次中央病院	13	3.1	9
千葉労災	独立行政法人労働者健康福祉機構 千葉労災病院	16	2.3	9
東京労災	独立行政法人 東京労災病院	21	2.1	9
徳島市民	徳島市民病院	17	4.8	9
中頭	特定医療法人敬愛会 中頭病院	19	3.0	9
(済)長崎	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 長崎県済生会病院	10	1.0	9
那覇市立	那覇市立病院	17	3.0	9
県立奈良	奈良県立奈良病院	10	3.2	9
広島総合	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院	19	3.9	8
(赤)武蔵野	日本赤十字社東京都支部 武蔵野赤十字病院	22	2.1	9
KKR横浜栄	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	32	3.0	9
(済)横浜東	社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院	26	1.0	8
7-1		18	0.9	9
7-2		23	1.0	5
7-3		35	1.5	7
7-4		20	1.9	9
7-5		16	1.9	6
7-6		13	2.3	7
7-7		10	2.5	9
7-8		12	2.6	9
7-9		13	2.8	9
7-10		13	3.0	6
7-11		26	3.6	9
7-12		11	5.4	5
7-13		23	5.9	6
7-14		10	6.8	9